

## ご挨拶

今般、「第1回埼玉輸血フォーラム」を開催する運びとなりました。これまで埼玉県においては、輸血療法に関する懇話会が、埼玉県、埼玉県血液センターが中心となって、年に1回開催されて参りましたが、県内医療機関が中心となって輸血療法について検討する会の開催はありませんでした。全国的にも、各医療機関において、輸血療法委員会の設置が進められ、安全で適正な輸血が推進されているところではありますが、埼玉県内においては、その設置状況を含めて輸血療法の実態については、十分な検証ができていないところがあります。

そこで、埼玉県において安全で適正な輸血療法を実現するため、平成21年7月に、県内の大学病院、中核病院、血液センター、県職員を委員とする「埼玉県合同輸血療法委員会」が発足しました。その中で、埼玉県内における輸血療法の実態把握と今後の適正使用推進の基礎となるデータ作成を目的にアンケート調査および解析を実施することとなりました。

アンケート調査は、2008年に輸血用血液製剤の供給を受けた全ての医療機関に送付され、①輸血管理体制とくに輸血療法委員会活動の有無、②輸血検査実施体制と副作用調査体制の有無、③各血液製剤の使用量・廃棄量、④自己血輸血の実施状況などについて調査をお願いしました。

本フォーラムでは、このアンケート調査報告を中心に、各医療機関における輸血療法の問題点、とくに輸血管理、検査体制について討論をお願いしております。また、今後の合同輸血療法委員会の方向性について特別講演をお願いいたしました。

埼玉県内の輸血医療関係者の皆様には多数参加され、県内の適正輸血の実施のため、ご意見、ご検討をいただければ幸いです。

平成22年3月27日

埼玉県合同輸血療法委員会  
代表世話人 前田 平生